

## 九州における身近な地熱利用に関する研究

### 0. 講義の予定（変更版）

04月12日（水）	第1回目	ガイダンス
04月19日（水）	第2回目	小学児童による教室内の温熱環境評価に関する研究
04月24日（月）	第3回目	九州における身近な地熱利用に関する研究
05月01日（月）	第4回目	研究の枠組みをどのように組み立てるか
05月08日（月）	第5回目	研究MAPをどのように作成するか
05月15日（月）	第6回目	研究計画をどのように作成するか
05月22日（月）	第7回目	研究発表をどのように組み立てるか
05月29日（月）	第8回目	「建築環境工学」から「建築環境学」へ-建築環境工学の新しい研究手法を考えられないか-
06月05日（月）	第9回目	気候風土の観点からみた近代日本における企業の社宅街に関する研究-地方都市との関係-
06月12日（月）	第10回目	気候風土の観点からみた近代日本における企業の社宅街に関する研究-寒冷地と暑熱地との関係-
06月19日（月）	第11回目	地域の違いと地図の違い
06月26日（月）	第12回目	エネルギーの有効利用 パッシブとアクティブ（その1）
07月03日（月）	第13回目	エネルギーの有効利用 パッシブとアクティブ（その2）
07月10日（月）	第14回目	エネルギーの有効利用 パッシブとアクティブ（その3）
07月24日（月）	第15回目	エネルギーの有効利用 パッシブとアクティブ（その4）

注1) 上記のスケジュールは、あくまで予定です。検討を加えた結果、予定が大幅に変更になることもあります。

## 1. 九州における身近な地熱利用に関する研究

以下の文献を配付。頁番号は、通しではないので注意（文献などの頁数は、配付資料の頁数には加算せず）。

- [1] 辻原万規彦：熊本での身近な地熱利用，第45回熱シンポジウム「バイオクライマティックデザインの視点から地域・都市・建築の環境を考える」（日本建築学会編），日本建築学会，pp. 35～42，2015. 10.

## 2. 参考 URL

- [1] 日本建築学会 環境工学本委員会 熱環境運営委員会 バイオクライマティックデザイン小委員会  
<http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s14/>